

まちの話題

小郡市消防団入退団式



▲消防団員を前にあいさつをする川口前団長

4月4日、第34回小郡市消防団入退団式が行われ、39人の新入団員を代表して第1分団の田中謙大さんが忠実に消防の義務を遂行する決意を表明しました。

また、今回退団される川口大前消防団長に対し特別表彰として感謝状が贈呈されました。川口さんは昭和29年に入団され、56年間（うち団長16年間）に渡り消防団員の職務に精励されました。退団にあたり「小郡市消防団員の規律、士気、組織力は名実ともに県下一と自負しています。今後田中保夫新団長を中心に一丸となり、市民の皆さんの負託にこたえられるよう、これまで以上に磨きをかけて消防団が躍進することを期待します」とあいさつをされました。

新しい公園が完成しました



▲完成した人権のまちづくりふれあい公園

小坂井に新しい公園ができました。

この公園の建設にあたっては、小坂井1区・小坂井2区・大崎区の区長さんや地域の代表者、行政などで組織した「人権のまちづくり小坂井・大崎地区推進委員会」の中で人権の視点を大切にしたい協議のもとに進められてきました。

その中で、公園の名称については一人ひとりの人権を大切にする地域住民の交流の場となるように「人権のまちづくりふれあい公園」と名付けられました。

この公園は、遊戯広場、健康広場、多目的広場などを設け、バリアフリー（段差解消）を図るなど、誰にでも利用しやすいように造られています。

市民の皆さん、大いにご利用ください。

感謝状を贈呈



▲田中智一朗さん(左)へ感謝状が贈呈されました

（株）田中三太郎商店の代表取締役社長 田中智一朗さんから清六橋公園内（祇園神社北側）にトイレを整備するための寄付をいただいたことに対し、4月8日平安正知市長が感謝状を贈呈しました。田中さんは「お祭りのときにトイレがなくて、『あったらいいのに』という思いがありました。普段、地元との接点が少なく、身近な部分で何か貢献できないかと思い、寄付させていただきました」と話されました。平安市長は「大切に使用させていただきます。ありがとうございました」とお礼を述べました。

トイレはバリアフリー化され、すでに完成しておりどなたでも使用できます。

花立区「不戦の日」お観音堂法要



3月31日、花立区で「不戦の日」を祈念して2回目のお観音堂の法要が行われました。

花立区は今から65年前の太平洋戦争時の昭和20年3月31日、アメリカ軍のB29爆撃機からの空襲を受けました。区民など5人の爆死者と2～300人の兵士が亡くなりました。家屋は16軒が全焼し、牛馬も多数焼死しました。中でも最も激しく被害を受けたのは村中の「お観音堂」付近でした。2体ある仏像のうち1体は一部が100メートルも遠方に飛ばされ、もう1体の仏像は光背が破損してしまいました。この3月31日を花立区の「不戦の日」と位置づけ、戦死者へのご冥福を祈る法要を行っています。